

新吉原と地震



今年のNHK大河ドラマ「べらぼう」の舞台となっている新吉原が注目を集めている。ところが現代の価値観から見て負の側面が大きい歴史的現場を我々が正確に理解するには、想像以上の困難が伴う。特にそこで起こった地震を通じて悲慘さ、理不尽さが強調される余り、誇大に負の側面が拡大されて伝えられることはしばしばある。これは新吉原に限らず、今年戦後80年を迎える先の大戦下での軍需工場などでも見られることである。

本企画展では、新吉原の成り立ち、さらには安政江戸地震、関東大震災と続く地震災害下の新吉原で何が起こり、何が変わり、さらに現在まで残されているものは何かを、資料と現地調査結果をもとに、できるだけ正確に伝えたい。

そこには、悲慘な女性と血も涙もない「忘八」と呼ばれた遊女屋の主人だけが居た訳ではない。血の通う様々な人間模様があつたはずである。関東大震災は、新吉原を大きく変える転機となった。今に続く、新吉原で非業の死を遂げた女性への同情と慰霊の原点でもある関東大震災は、近代の新吉原を考える上で避けては通れない事件でもある。

名古屋大学減災連携研究センター

招へい教員 武村雅之

#「忘八」：仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌(てい)の八つの徳目のすべてを失った者の意から、郭(くるわ)通いをする。また、その者、転じて、遊女屋。また、その主人を指す。



浄閑寺御朱印



吉原観音(新吉原花園池跡)



安政見聞誌より

【スペシャルギャラリートーク】

- ①6月14日(土)「その1 始まりから関東大震災まで」
- ②7月5日(土)「その2 投込み寺(浄閑寺)の変遷」
- ③8月2日(土)「その3 震災後の復興と慰霊」

〒464-8601 名古屋市中千種区不老町 Tel: 052-789-3468 Fax 052-789-5023

開館時間: 13:00-16:00 休館日: 日祝・月・火曜日、最終土曜日

※天候、行事等の諸事情により上記以外でも急遽休館になる場合がございます。
※最新の情報はHPにてご確認ください。

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>



減災館

Disaster Mitigation Research Building

名古屋大学減災連携研究センター